

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号  
 住 所 横浜市鶴見区弁天町3番地1  
 氏 名 JFE環境株式会社  
 代表取締役 櫻井 雅昭 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	JFE環境株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区水江町5番地1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	R	サービス業 (他に分類されないもの)
	中分類	88	廃棄物処理業
主たる事業 の内容	廃棄物の資源化及び焼却処理を行なっている。		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,628 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		58,333 t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	28年度 ~ 30年度 (報告年度 29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策結果報告

## 1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

## (1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

## ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 65,332 t-CO <sub>2</sub> (調) 63,563	(実) 64,430 t-CO <sub>2</sub> (調) 63,143	(実) 62,474 t-CO <sub>2</sub> (調) 61,118	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) 65,203 t-CO <sub>2</sub>
削減率		(実) 1.4 % (調) 0.7	(実) 4.4 % (調) 3.8	(実) % (調)	(実) 0.2 %

## イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	処理量		単位	t-CO <sub>2</sub> /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.6005	0.5929	0.5991		0.5993
削減率		1.3 %	0.2 %	%	0.2 %

## ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	川崎エコクリーンでの廃プラスチック類が減少したため、非エネルギー起源温室効果ガスの排出量が減少した。川崎エコクリーンでの廃棄物由来燃料が減少したため、廃棄物燃料起源温室効果ガスの排出量が減少した。その結果総排出量が減少した。
第2年度	①川崎エコクリーンでの廃プラスチック類が減少したため、非エネルギー起源温室効果ガスの排出量が減少した。②缶ペットボトル化工場の事業停止。①、②によりCO <sub>2</sub> 総排出量は減少したが、CO <sub>2</sub> 排出原単位は悪化した。
第3年度	

## (2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>①原油換算エネルギー使用原単位を年率1%減少させることを全社目標としている。</p> <p>②缶ペットボトル化工場の事業停止（川崎市の委託事業契約の終了）</p> <p>③照明のLED化、省エネ機器への更新の推進</p>
---

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	①推進体制の継続実施、②エネルギー使用設備の管理強化の継続実施、③事務所等の空気調和の管理強化の継続実施、④照明設備の省電力化の継続実施、⑤焼却炉主要設備等の保安全管理の継続実施、⑥廃熱回収設備の保安全管理の継続実施
	第 1 年度	平成28年度は、次の対策を実施した。②ペットボトルリサイクル施設の粉砕機2基の電力データを解析し、適正運転を行いエネルギー管理を徹底した。加えて加温洗浄液の管理強化により熱源となる蒸気の原単位を低減した。③室温設定28℃及びサーキュレーター使用(川崎エコクリーン)。④照明の省エネ化(原料化施設、ペットボトルリサイクル施設、川崎エコクリーン)。⑥蒸気配管の日常点検及び必要に応じて保温材の交換(川崎エコクリーン)。
	第 2 年度	平成 2 9 年度は以下の対策を実施した。 ①ペットボトルリサイクル施設の蒸気配管保温材の巻き替え。 ②ペットボトルリサイクル施設、川崎エコクリーン施設工場棟のLED化および増設。 ③扇島工場の工場棟照明のLED化。 ④家電加工リサイクル施設の工場棟照明のLED化。
	第 3 年度	
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	川崎エコクリーンは、廃熱を利用した自家発電の増大を図り、外部に売電することで他社の排出制御に貢献する。 ・目標売電量、貢献予定量 4,700千kWh/年×0.41※≒1,900t-CO2/年 ※アーバンエナジー(株)排出係数 (H26年度実績)
第1年度	売電実績量は4,793千kWhと、目標量4,700千kWhをクリアした。CO2排出抑制への貢献量は、計画時の1,900t-CO2に対して1,970t-CO2(4,793*0.41≒1,970)であった。 注：アーバンエナジー(株)排出係数 (H26年度実績)：0.41t-CO2/千kWh。
第2年度	売電実績量は5,006千kWhと、目標量4,700千kWhをクリアした。CO2排出抑制への貢献量は、計画時の1,900t-CO2に対して2,052t-CO2(5,006*0.41≒2,052)であった。 注1：アーバンエナジー(株)排出係数 (H26年度実績)：0.41t-CO2/千kWh。 注2：アーバンエナジー(株)排出係数 (H29年度実績)：0.458t-CO2/千kWh。⇒2,293t-CO2
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	京浜事業本部は、廃プラスチック処理により生成するリサイクル品をプラスチック燃料 (RPF) 及び材料リサイクル原料として他社へ販売している。 今後もこのプラスチック燃料及び材料リサイクル原料の販売量の維持・拡大を行なっていくことにより、他社の温室効果ガスの削減に貢献する。 ・目標販売量 プラスチック燃料：14,000 t/年 材料リサイクル原料：12,000 t/年
第1年度	販売実績量は、プラスチック燃料；15,000 t/年、材料リサイクル原料；14,000 t/年で、目標量を達成した。
第2年度	販売実績量は、プラスチック燃料；15,200 t/年、材料リサイクル原料；14,200 t/年で、目標量を達成した。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	62,322	t-CO <sub>2</sub>
(調)	61,015	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
JFE環境株式会社 京浜事業本部	川崎市川崎区水江町5番地1	8822	産業廃棄物処分量	3,716 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	1
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
JFE環境株式会社 川崎エコクリーン	川崎市川崎区扇町6番12号	8822	産業廃棄物処分量	58,606 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	1
------	---